

# 平成24年3月期 決算説明会

---

AOI Pro.

2012年6月6日  
株式会社 葵プロモーション

# 会社概要

---

# 会社概要

---

株式会社 葵プロモーション

(7月1日より株式会社 AOI Pro.に商号変更予定)

(東証第一部:9607)

英文社名:Aoi Advertising Promotion Inc.

(7月1日よりAOI Pro.Inc.に商号変更予定)

代表者:藤原 次彦

設立:1963年10月25日

資本金:33億2390万円

売上高:216億円(2012年3月期/連結)/140億円(2012年3月期/単体)

社員数:568名(2012年3月末/連結)/275名(2012年3月末/単体)

事業内容:1. テレビコマーシャルの企画及び制作  
2. デジタルコンテンツの企画及び制作  
3. エンタテインメントコンテンツの企画及び制作

本社:〒141-8580 東京都品川区大崎1-5-1 大崎センタービル5F

# ステートメント

AOI Pro.  
**Promise**  
(AOI Pro.の約束)

ひとりひとりが  
それぞれの立場や役割の  
**Professional**として  
最高のクリエイティビティを発揮させ  
さまざまな **Produce** を行う。

そこから生み出された **Product** を  
社会やステークホルダーの **Profit** につなげる。

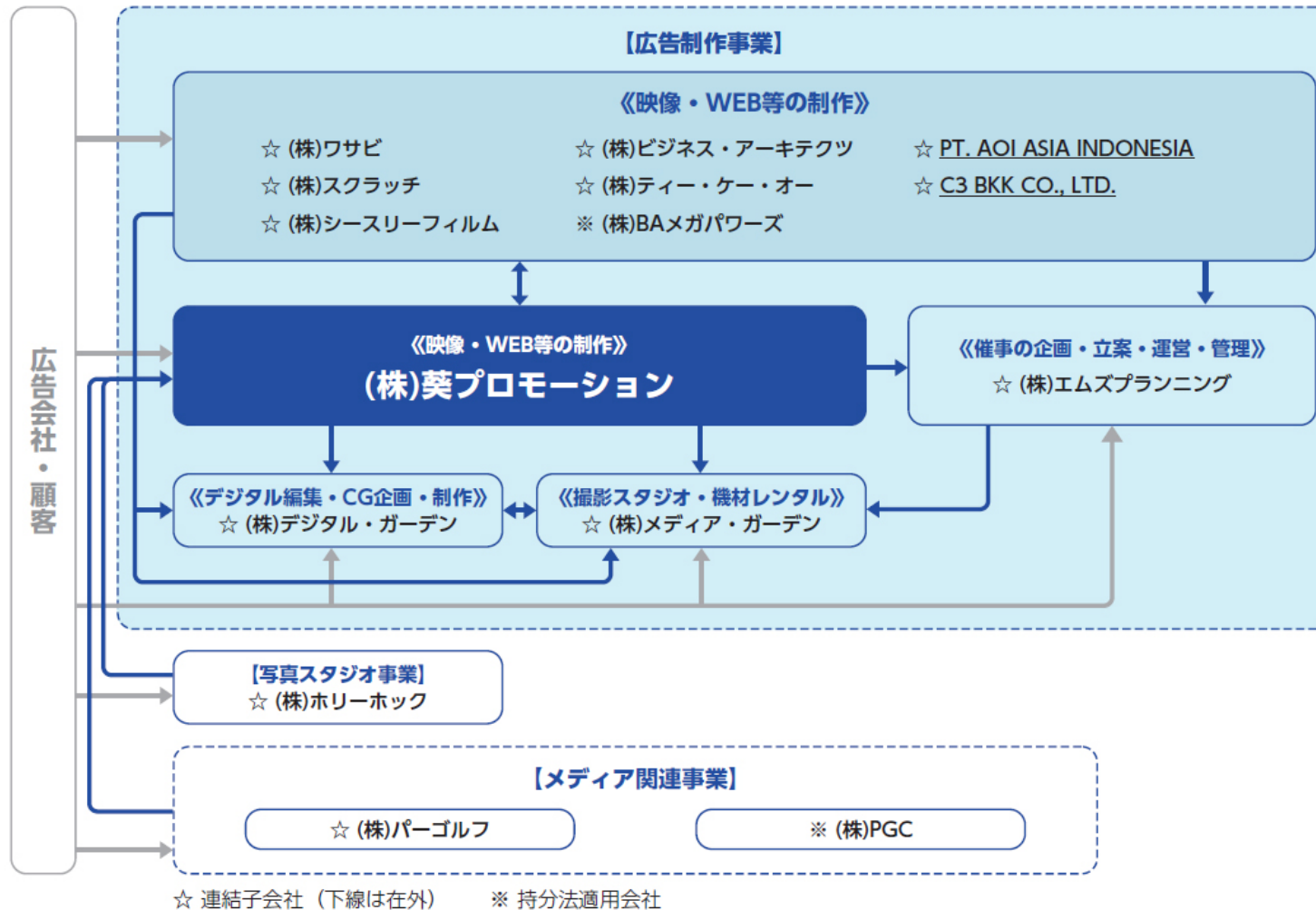
それが私たちの **Promise** です。

*Creative Native* **AOI Pro.**

[Pro]は、「前に」「先へ」という意味の接頭語。私たちは、そこにたくさんの思いや決意を込めました。

# 当社グループ

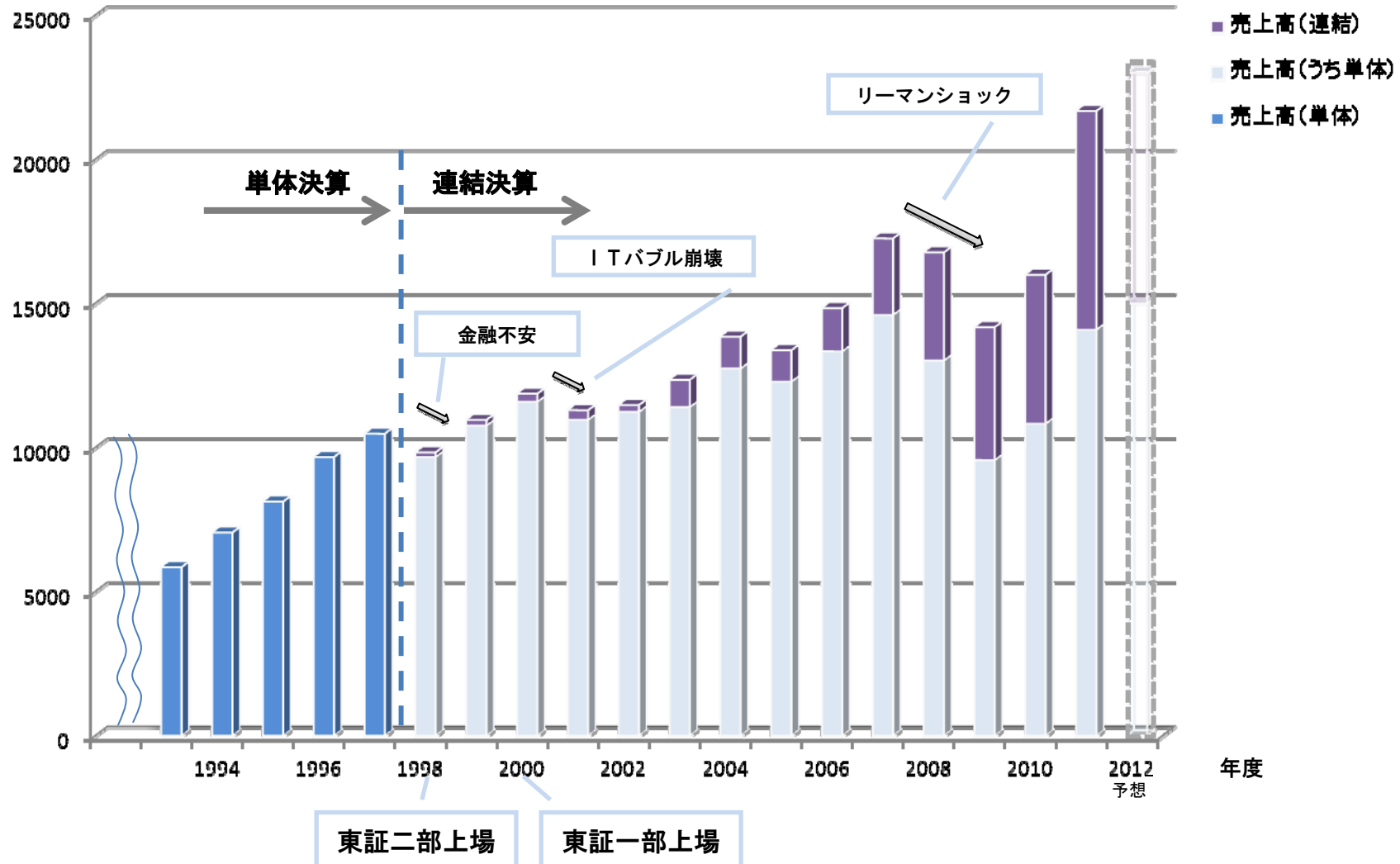
- ・ 広告制作事業 …… 主にCM作品、WEB作品の制作及び催事の運営等、広告に関わる制作事業
- ・ 写真スタジオ事業 …… コンシューマ向け写真館運営並びに全国の写真館に対する販売促進支援事業
- ・ メディア関連事業 …… ゴルフに関わる出版・広告・オンライン事業



# 成長経緯

設立以来、基本的には右肩上がりの成長を維持。

売上（百万円）





# 中期経営計画

---

# 概要

---

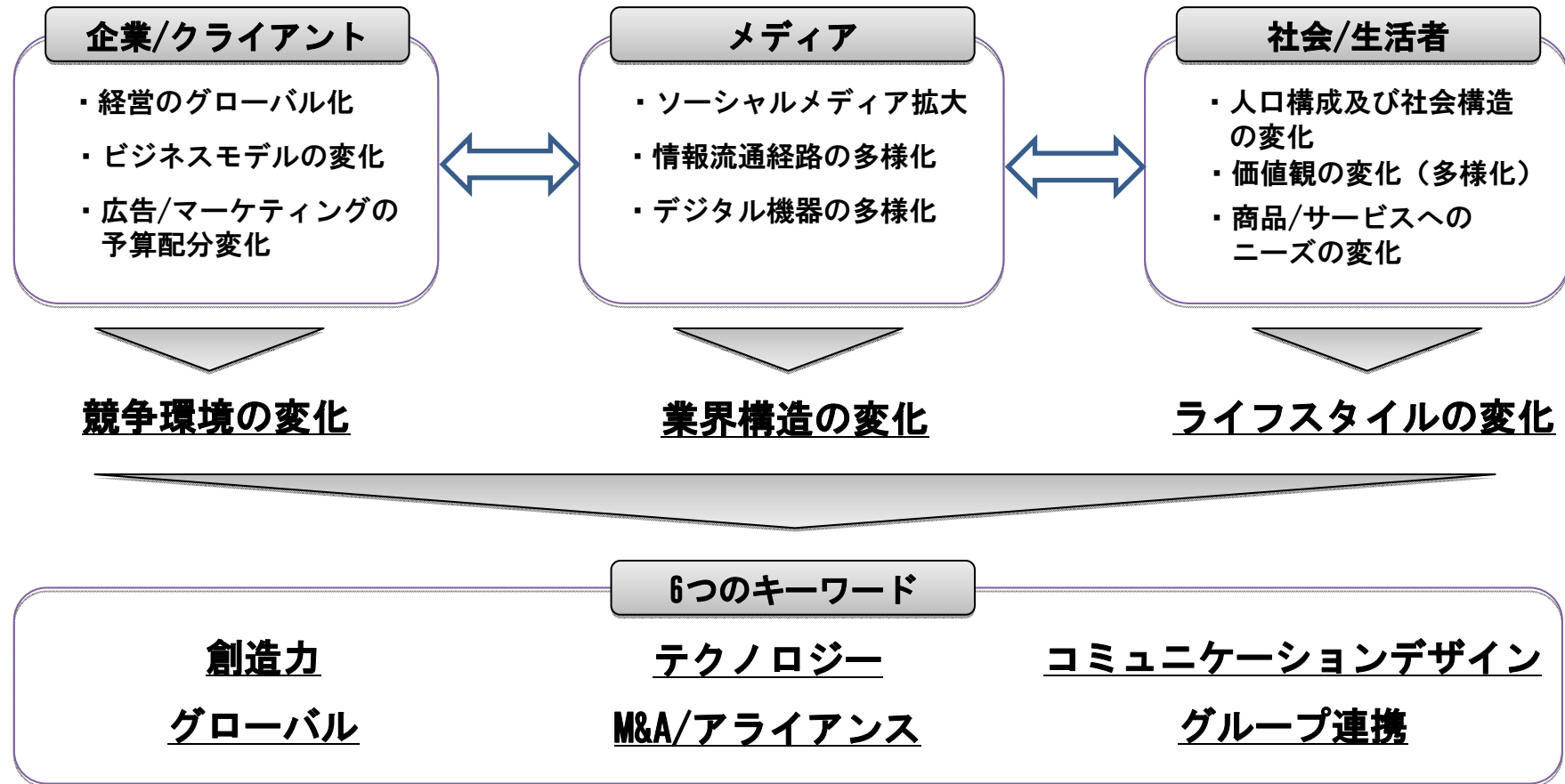
今後も当社グループが着実に成長し、永続的に発展していく企業であり続けるための礎を築く3年間のガイドラインとして2012年3月に策定。

1. 当社グループを取り巻くビジネス環境の変化とキーワード
2. これまでの取組み
3. 基本方針
4. 3つの事業戦略を実現するための新たな取組み
5. 3つの事業を支える基盤
6. 中期連結経営目標



# 当社グループを取り巻くビジネス環境の変化とキーワード

社会全体の構造が大きく変化する転換期を迎えており、以下のような新たな視点を加えたビジネスモデルのブラッシュアップが必要。



**「事業戦略×キーワード」を軸に新たな取組みを推進**

# これまでの取組み

2010年に藤原次彦が代表取締役社長に就任した際に以下の3つの事業戦略を掲げ、その実現に積極的に取り組む。

## 3つの事業戦略

### <第1の柱>

主力であるテレビCM、WEBコンテンツ等広告映像制作における業界シェア拡大のための、営業力・技術力強化とクロスメディアに対応できる人材・グループ会社の育成。

### <第2の柱>

これまで培ってきた映像制作に関わるノウハウをフル活用することによる映像ビジネス領域の拡大。

### <第3の柱>

われわれの財産である創造力を異業種とコラボレーションさせることで生まれる新規ビジネスの開発。

## 取組み

### <Web分野の強化>

- ・(株)ビジネス・アーキテクツの子会社化
- ・(株)葵デジタルクリエイションの吸収合併

### <広告セールスプロモーション分野の強化>

- ・(株)ティー・ケー・オーの子会社化

### <映像制作ノウハウの写真ビジネスでの活用>

- ・(株)ホリーホック設立

### <日本の映像制作ノウハウを日本企業が数多く進出するアジア領域で活用>

- ・PT. AOI ASIA INDONESIAの設立

### <「週刊パーゴルフ」のブランド力・編集力と、当社グループが持つデジタル映像制作技術、エンタテインメントコンテンツ制作ノウハウと創造力のコラボレーション>

- ・(株)パーゴルフの子会社化

# 基本方針

今次中期経営計画の基本方針としても、引き続き3つの事業戦略を踏襲し、それを支える基盤の構築にも注力する。

## 3つの事業戦略

### <第1の柱>

主力であるテレビCM、WEBコンテンツ等広告映像制作における業界シェア拡大のための、営業力・技術力強化とクロスメディアに対応できる人材・グループ会社の育成。

### <第2の柱>

これまで培ってきた映像制作に関わるノウハウをフル活用することによるビジネス領域の拡大。

### <第3の柱>

われわれの財産である創造力を異業種とコラボレーションさせることで生まれる新規ビジネスの開発。

## 3つの事業戦略を支える基盤

葵プロモーションのDNAを受け継いだプロフェッショナルを育成する仕組みの構築

スピード感のある効率的な経営を支えるための組織及びグループ管理体制の構築

# 3つの事業戦略を実現するための新たな取組み

6つのキーワード	概 要
創造力	映像制作で培った「創造力」を、他の領域でも活用し、継続的に新しいビジネスに挑戦する。
テクノロジー	クラウド、高速データ通信、スマートデバイスなど、日々生み出されるテクノロジーを活用したコンテンツ制作ノウハウを蓄積し、今回新設するビジネスプロデュース部、UX*1プロデュース部、ソーシャルアプリ事業部を中心にクライアントごとに最適化されたソリューションを提供する。 また、BTL*2 領域においても、映像制作を軸に新しいテクノロジーを活用したビジネスモデルを構築する。
コミュニケーションデザイン	クライアントの要望に沿った適切なコミュニケーションプランをメディア横断的にデザインできるような体制を、今回新設するコミュニケーション戦略部を中心に構築する。
グローバル	日本企業の海外進出、外資系企業の海外でのプロモーションをサポートする。
M&A/アライアンス	コンテンツ制作分野において明確な強みを持った企業や、技術、特許を有した企業とのM&A/アライアンスを中心に、既存のビジネスとのシナジーが見込める新しいビジネスを模索する。
グループ連携	各グループのソリューションを組み合わせ、クライアントへ提供する体制をコミュニケーション戦略部、ビジネスプロデュース部を中心に構築する。

\*1 UX・・・User Experience (ユーザ体験)

\*2 Below the line・・・4マスメディア以外のプロモーションメディア及び手法

# 3つの事業戦略を支える基盤

## 業プロモーションのDNAを受け継いだプロフェッショナルを育成する仕組みの構築

- 人材開発部を新設し、当社グループの事業戦略に合った人材の採用、育成の強化を図る。
- 「AOIグループ all匠プロジェクト」を全グループを対象に推進。

「AOIグループ all匠プロジェクト」とは

当社は、半世紀近くにわたって「ものづくり」を続けてきた会社であり、今、その原点に立ち返って、グループ全社員がそれぞれのビジネス分野において『匠』になることが、AOIグループのこれからを支える大きな糧になるものと考えスタートさせたプロジェクト。今後、教育研修制度の拡充や自己啓発の支援等を図っていきます。

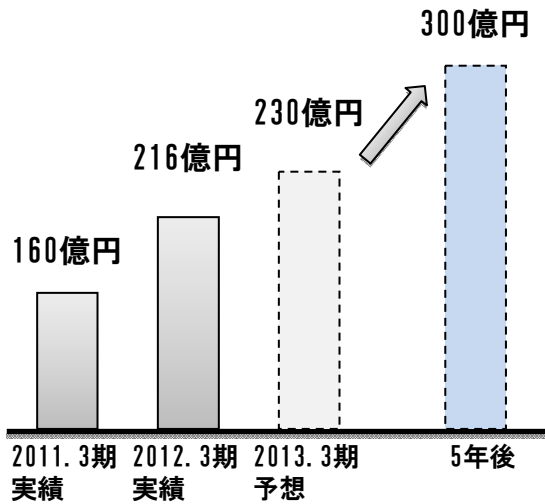
## スピード感のある効率的な経営を支えるための組織及びグループ管理体制の構築

- コーポレート本部を新設し、その下に経営戦略部（旧 総合計画部）、グループ統括部（新設）、グローバル統括部（新設）、広報IR部、グローバルMB部、法務部（旧 法務室）を設置することで、当社グループ全体の事業戦略策定機能、経営管理機能の強化を図る。
  - グループ統括部：グループ会社の拡大に合せた強固かつ効率的な経営管理機能を構築する。
  - グローバル統括部：海外への事業進出に合せた強固かつ効率的な経営管理機能を構築する。

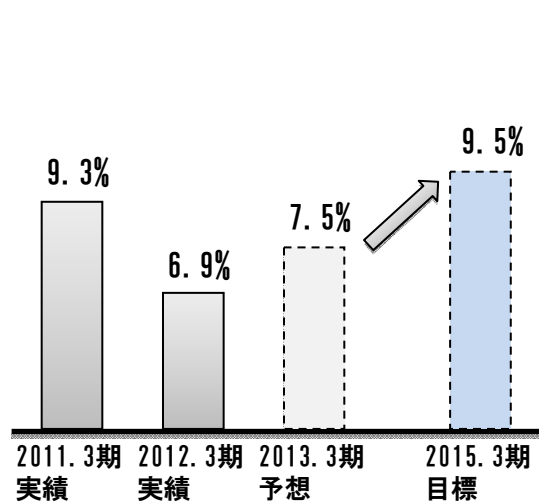
# 中期連結経営目標

目標指標	目標数値
連結売上高	300億円（5年後）
連結営業利益率	9.5%（2015年3月期）
連結ROE	10.0%（2015年3月期）

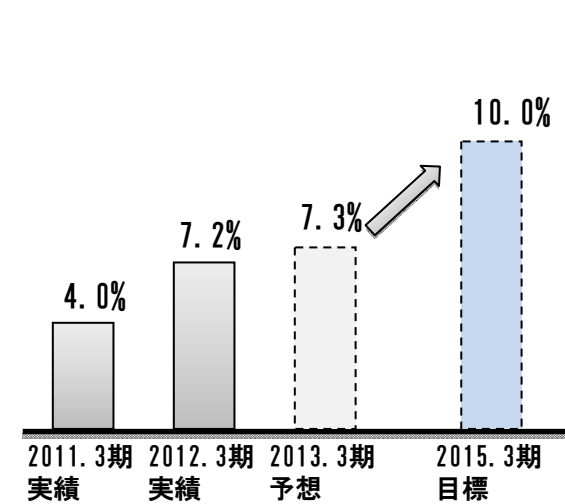
売上高



営業利益率



ROE



**2012年3月期業績  
&  
2013年3月期業績予想**

---

# 2012年3月期 トピックス

➤株式会社パーゴルフ、株式会社ビジネス・アーキテクツ等の子会社化。

	(株)パーゴルフ	(株)ビジネス・アーキテクツ
株式取得日	2011年4月1日	2011年7月1日
取得対価	336,000千円	295,500千円
のれんの金額	315,489千円	256,205千円
2012年3月期売上高	1,478,128千円	*1 643,285千円

\*1 2011年7月以降の9か月分の売上高

➤海外現地法人の設立。

- ・インドネシア： PT. AOI ASIA INDONESIA (2011年9月1日)
- ・タイ： C3 BKK CO., LTD. (2012年1月11日)



# 2012年3月期 業績（連結）

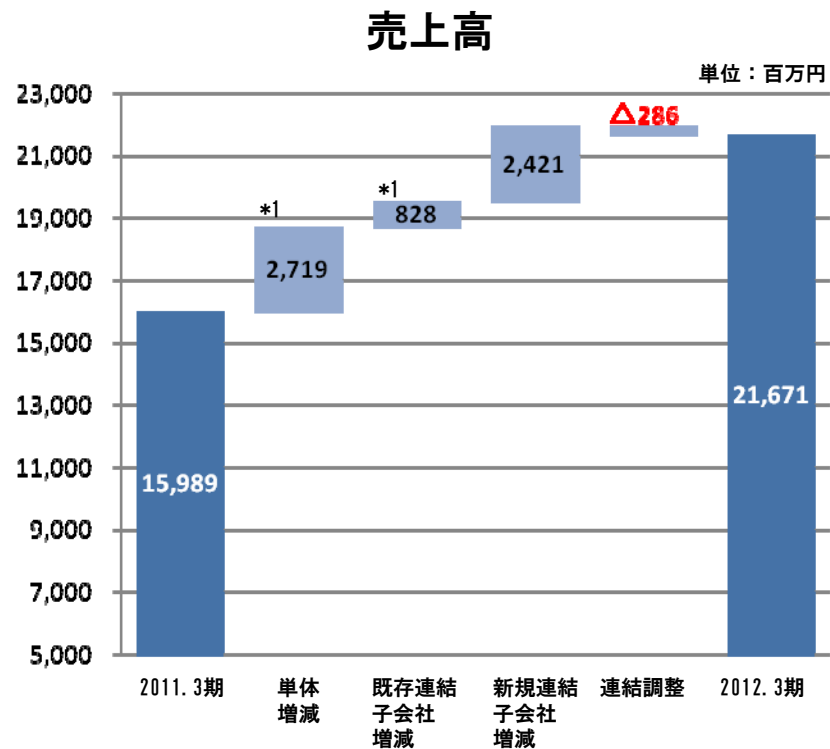
単位：百万円

	2011年3月期	2012年3月期	売上高比	前年同期比	期初予想	差額	達成率
売上高	15,989	21,671	-	135.5%	17,890	3,781	121.1%
売上総利益	3,246	4,079	18.8%	125.7%	-	-	-
販管費	1,767	2,579	11.9%	146.0%	-	-	-
営業利益	1,479	1,499	6.9%	101.4%	1,330	169	112.7%
経常利益	951	1,454	6.7%	152.9%	1,240	214	117.3%
税引前純利益	697	1,452	6.7%	208.3%	-	-	-
当期純利益	360	674	3.1%	186.9%	470	204	143.4%

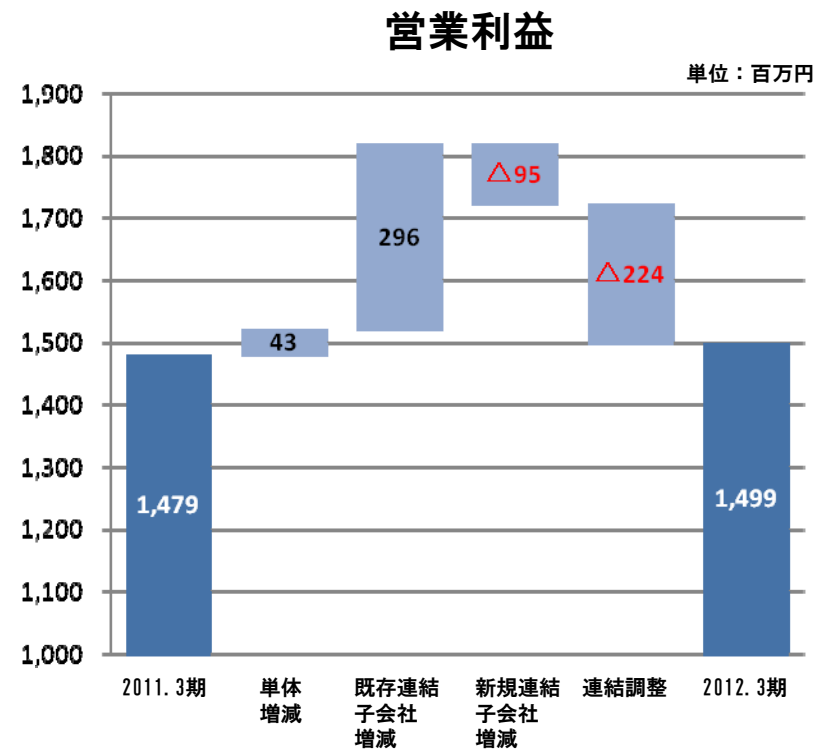
# 増減要因分析

- 本業のテレビCM制作が好調
- 営業利益率の低下は、大型作品の増加等による外部支出原価率の上昇、本社移転や事業展開拡大に伴う販管費の増加、(株)パーゴルフの損失計上等に起因

## 連結売上高要因分析



## 連結営業利益要因分析



\*1 2011年10月(株)葵プロモーションに(株)葵デジタルクリエーションを合併した影響を調整

# 連結貸借対照表

## 貸借対照表

単位：百万円

	2011年3月期	2012年3月期	増減額
流動資産	10,010	13,297	3,287
固定資産	7,199	7,372	173
資産合計	17,210	20,669	3,459
流動負債	5,346	8,637	3,291
固定負債	2,448	2,142	△ 306
負債合計	7,795	10,780	2,985
純資産	9,415	9,889	474

## コメント

資産増加額のうち、(株)パーゴルフ、(株)ティー・ケー・オー、(株)ビジネス・アーキテクツの子会社化に伴う増加が合計1,179百万円。

流動負債増加額のうち、(株)パーゴルフ、(株)ティー・ケー・オー、(株)ビジネス・アーキテクツの子会社化に伴う増加が合計1,120百万円。

# 連結キャッシュ・フロー計算書

## キャッシュ・フロー計算書

## コメント

単位：百万円

	2011年3月期	2012年3月期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	646	△ 4	△ 650
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 825	△ 810	15
財務活動による キャッシュ・フロー	170	927	757
現金及び現金同等物 の期末残高	2,227	2,340	113

営業活動によるキャッシュ・フローについては、税引前当期純利益が増加したものの、売上高増加に伴う売上債権・棚卸資産の増加等により減少。

# 2013年3月期の予想（連結）

単位：百万円

	2012年3月期実績	売上高比	2013年3月期予想	売上高比	前年同期比
売上高	21,671	-	23,000	-	106.1%
売上総利益	4,079	18.8%	4,600	20.0%	112.8%
販管費	2,579	11.9%	2,870	12.5%	111.3%
営業利益	1,499	6.9%	1,730	7.5%	115.4%
経常利益	1,454	6.7%	1,680	7.3%	115.5%
税引前純利益	1,452	6.7%	1,630	7.1%	112.3%
当期純利益	674	3.1%	700	3.0%	103.9%

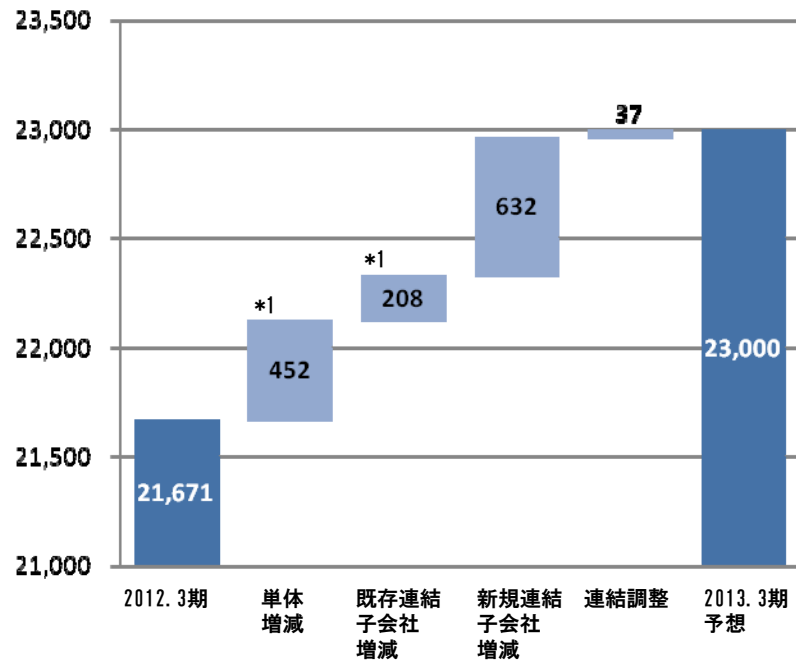
# 2013年3月期 増減要因分析予想

- ・ 今後の広告需要は、テレビを中心に回復基調を維持  
⇒主力の広告制作事業は引き続き堅調に推移
- ・ 前期損失を計上した写真スタジオ事業・メディア関連事業は改善の見込み

## 連結売上高要因分析

### 売上高

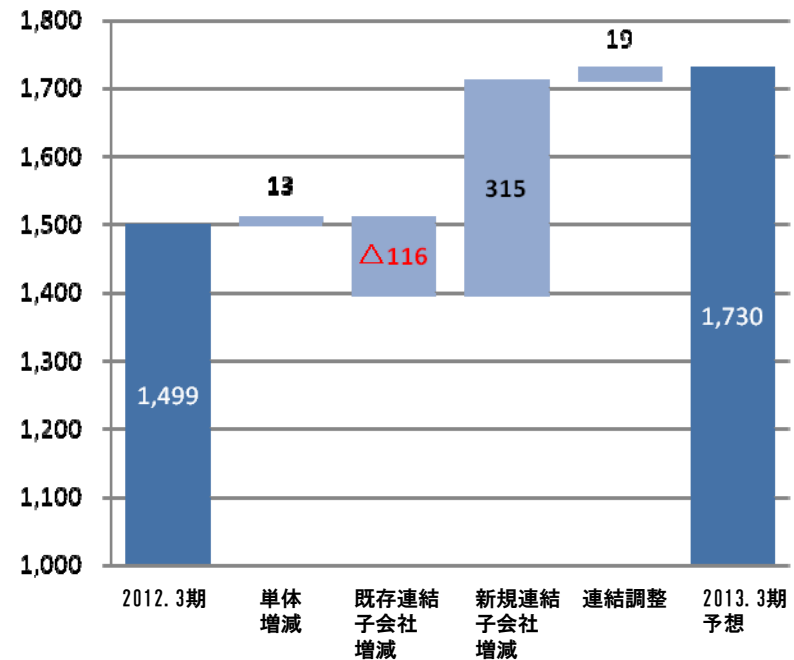
単位：百万円



## 連結営業利益要因分析

### 営業利益

単位：百万円



\*1 2011年10月(株)葵プロモーションに(株)葵デジタルクリエイションを合併した影響を調整

# 株主還元

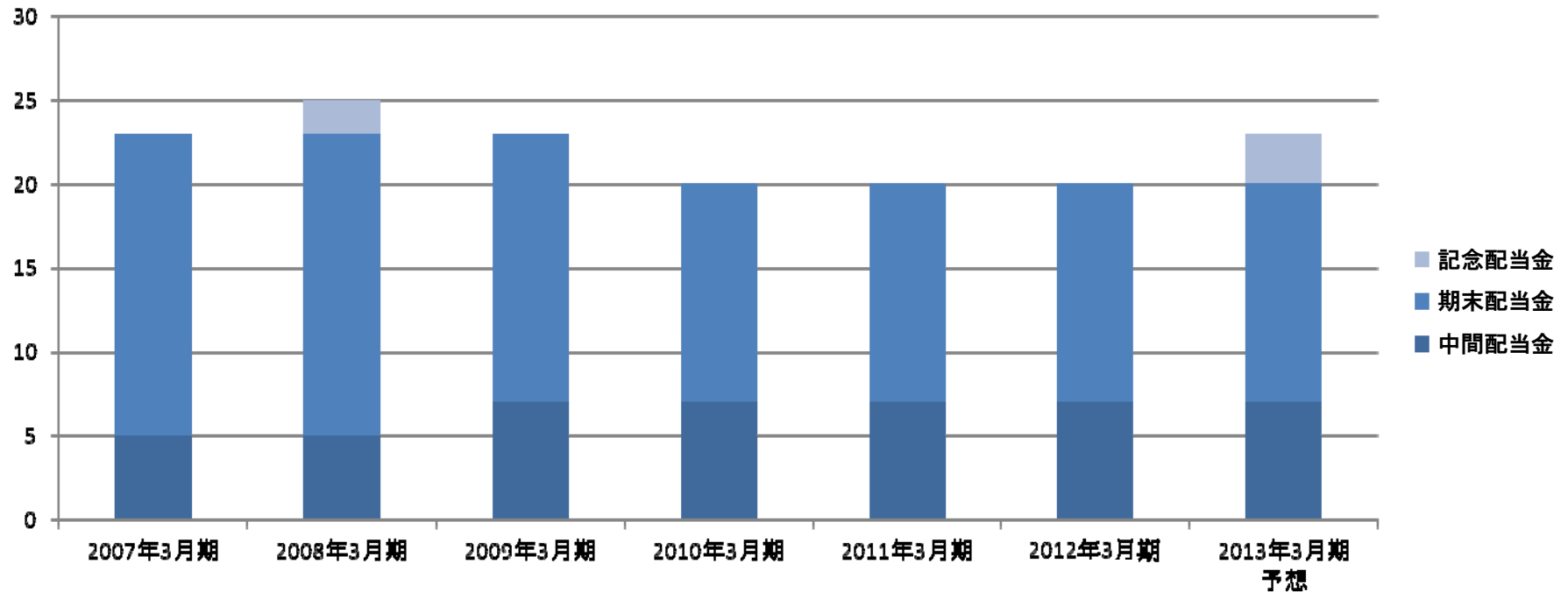
経営基盤と財務体質の強化を図るとともに、株主の皆様積極的にかつ継続的に利益還元を行う考えであり、配当に関しては今後の収益予想を踏まえ、当面下記のとおり実施。

- ① 配当性向30%以上
- ② 1株当たり年10円以上

## 配当推移

### 配当

単位：円



配当性向      171.1%      117.1%      -      57.1%      221.4%      47.7%      52.5%

---

当資料には、当社の計画と見通しを反映した将来予想に関する記述を含んでおります。  
かかる将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、  
これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否等、不確実な要因の影響を受けます。  
従いまして、実際の業績はこの資料に記載されている将来予想に関する記述とは大きく異なる  
場合があることをご承知おきください。

また当社は、この資料の開示後において、かかる将来予想に関する記述を更新して公表する  
義務を負うものではありません。

## お問合せ先

株式会社 葵プロモーション 広報IR部

TEL : 03-3779-8006

URL : <http://www.aoi-pro.com/>